

米国 生鮮リンゴの貯蔵量は前年比33%増

The Packer 2023年12月11日

米国リンゴ協会(USApple)の12月1日付けの報告書によると、米国の生鮮リンゴ貯蔵量は1億2,440万ブッシェルであった。同協会は、この数字は昨年の同時期に報告された在庫量よりも33%多く、12月の5年平均よりも20%多いとしている。(同協会の報告書では 1ブッシェル=42ポンド=約19kg)

同協会はまた、加工用のリンゴは合計4,850万ブッシェルで、昨年の同時期に比べて19%多いとしている。これは、同月の過去5年平均を17%上回っている。

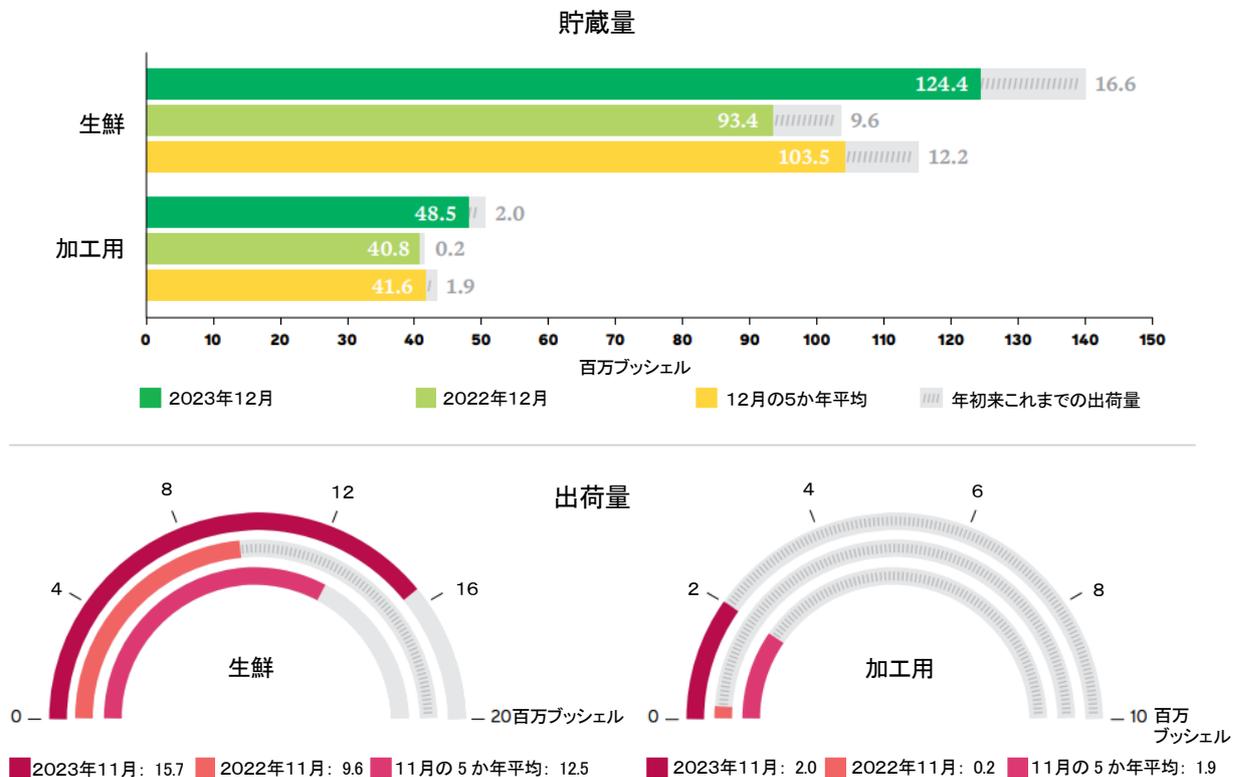
同報告書によると、ワシントン州はリンゴの貯蔵量で各州をリードしており、2,339万9,776ブッシェルの生鮮リンゴが通常の冷蔵倉庫に保管されており、8,198万6,890ブッシェルの生鮮リンゴがCA貯蔵庫に保管されている。

同協会の報告によると、CA貯蔵されている生鮮リンゴの中で、ガラ品種は1,875万8,807ブッシェルで貯蔵中のすべての品種をリードし、レッドデリシャスは1,785万3,167ブッシェルで第2位となっている。通常倉庫での保管では、ピンクレディー/クリップスピックが389万3,710ブッシェルで、すべての品種の中で最も多く、ハニークリスピーが358万764ブッシェルで第2位である。

同協会によると、CA貯蔵中のすべての加工用リンゴの中で、ハニークリスピーが748万2,773ブッシェルで全体をリードし、ゴールドデンデリシャスは371万1,724ブッシェルで第2位である。通常倉庫内の加工用リンゴではゴールドデンデリシャスが180万9,405ブッシェルで最も多く、「その他の品種」が180万3,082ブッシェルで2番目に多い。

関連リンク: 報告書全文は[こちら](#)から閲覧できる。

執筆者: クリスティーナ・ヘリック



(図は報告書から引用しました。)